

【助産診断・技術学】

科目名	助産技術演習		講師名	専任教員 (30)	学年	1	履修期	第1学期
単位	1単位							
時間数	30時間							
講師実務経験	助産師として実務経験あり							
授業概要	分娩介助の基本知識と基本技術を習得する。							
授業科目目標	1. 分娩介助の原理を理解できる。 2. 分娩介助技術の基本を習得できる。 3. 基本的な産婦診察の技法を習得できる。							
授業内容	第1回	1. 分娩介助技術の理論 1) 分娩介助技術の構成と技術の要点 (1) 手指消毒・ガウンテクニック・滅菌手袋装着 (2) 分娩期の導尿						演習
	第2回	2. 胎児心拍モニタリングの判読						講義
	第3～4回	2) 分娩介助の基本技術 (1) 手指消毒・ガウンテクニック・滅菌手袋装着 (2) 分娩期の導尿						演習
	第5回	2) 分娩介助の基本技術 (3) 分娩セットの展開 (4) 間接介助の役割						演習
	第6～7回	3. 分娩介助技術の実際 1) ファントームを用いた分娩介助 (演示) 2) 呼吸法、産痛緩和法、分娩促進ケア						演習
	第8～10回	3. 分娩介助技術の実際 2) 技術演習						演習
	第11回	3. 分娩介助技術の実際 3) 技術チェック						演習
	第12回	3. 分娩介助技術の実際 4) 技術チェック						演習
	第13回	3. 分娩介助技術の実際 5) フリースタイル分娩						演習
	第14回	4. 胎盤精査と計測、出血量測定 5. 助産録の記載 (45分)	3H					講義・演習
		終了試験 (分娩介助技術試験)	1H					
評価方法	技術試験							
テキスト	「分娩介助手順指導テキスト」: 岡山医療センター版 分娩介助学 第2版 医学書院 写真でわかる助産技術アドバンス 胎児心拍数モニタリング講座 メディカ出版							
参考書	分娩のしくみと介助法 MEDCAL VIEW 今日の助産 南江堂 分娩介助学 医学書院							

【助産診断・技術学】

学生への メッセージ	分娩介助技術は、分娩の3要素や分娩機転などの介助の原理となる知識を踏まえて、安全で効果的な介助技術が提供できるように技術演習を重ねてください。また、科目終了試験では正常な分娩経過の理解が不可欠になりますので、関連科目の知識も踏まえて学習を進めてください。
---------------	---